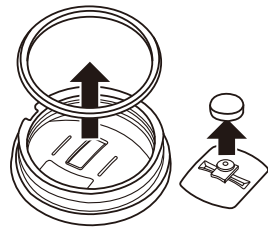


△お手入れ方法の注意

使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。
お手入れするときは、柔らかいスポンジでおこなってください。

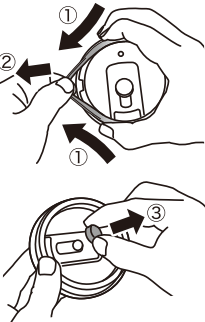
- ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
お手入れが不十分だと、におい、汚れや変色の原因となるおそれがあります。
- 本体を洗った後は、すぐに水分を拭き取ってください。
水滴の跡が残ったり、サビやものを汚す原因となります。
- シンナー、クレンザー、金属たわし、化学雑巾などは使用しないでください。
キズやサビ、破損の原因になります。
- 本体の煮沸、及び食器洗浄機や食器乾燥機などは使用しないでください。
水滴の跡が残ったり、サビやものを汚す原因となります。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
サビ、破損の原因になります。
- 長時間ご使用にならない場合は、汚れをきれいに洗い落とし完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。
- 本体・滑り止め・ふたの浸け置き洗いは絶対にしないでください。
水滴の跡が残ったり、サビやものを汚す原因となります。

パッキンの脱着方法



◎フタユニットは分解ができます。

汚れた場合は分解して隅々まで洗えます。
分解した部品の紛失に気をつけてください。



①フタを横から持ち、パッキンを切り欠き方向へ押し出します。

②切り欠き部からパッキンを抜き取ります。

③スライドフタの裏の飲み口パッキンを引き抜きます。

■交換部品

●飲み口パッキン、ふたパッキンは消耗品です。
約1年間を目安にご確認いただき、作動がスムーズでなかったり、表面のガラツキや損傷がある場合は交換してください。

交換部品のご購入はこちらから
アトラスオンラインショップ
<https://www.atlasonline.jp>



赤い斑点・ガラガラが付着した場合

タンブラー内側にサビのような赤い斑点や、ガラガラしたものが付着した場合には...

サビのような赤い斑点ができた場合

水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30分ほど放置した後、柔らかいスポンジ・ブラシなどで、内壁をよく洗ってください。食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

ガラガラしたものが付着した場合

水に含まれるカルシウムが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、3時間程放置した後に柔らかいスポンジ・ブラシなどで、内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

製品仕様

品質表示			材料の種類	
品名	ステンレス製真空断熱タンブラー		本体	内びん/ステンレス鋼 胴部/ステンレス鋼 (アクリル樹脂塗装)
品番	A3WAY-350/351	A3WAY-500/501		
ホルダー	350mL缶用	500mL缶用	飲み口ユニット	ふた/PCTG パッキン/シリコーンゴム
実容量	タンブラーふた無/0.36L タンブラーふた有/0.34L	タンブラーふた無/0.52L タンブラーふた有/0.5L		
保温効力 (1時間)ふた使用時	74℃以上	78℃以上	滑り止め	シリコーンゴム

*保温効力とは室温 20℃±2℃において製品に熱湯を飲み口ユニットの下端まで入れ、湯温が 95℃±1℃になったとき、飲み口ユニットをして縦置きにした状態で1時間放置した場合におけるその湯の温度です。

MADE IN CHINA

表示者 株式会社アトラス

〒192-0046 東京都八王子市明神町4-7-15 落合ビル2F
<https://www.atlas-scm.jp/>

お問い合わせ

TEL.042-660-8870

受付時間/9:00~18:00
月~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合はご使用にならないで、お買い求めの販売店までご連絡ください。



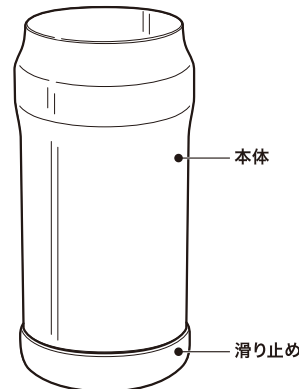
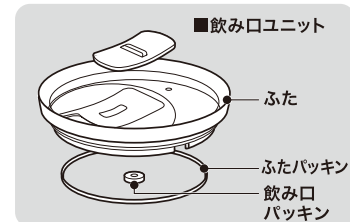
ステンレス製 真空断熱タンブラー

取扱説明書

A3WAYシリーズ

このたびは、当社のステンレス製真空断熱タンブラーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用いただきますよう、お願いいたします。
また、本書は、万一ご使用中にわからなくなったときにお役に立ちますので、いつでもみられるところに大切に保管してください。

●各部のなまえ



※説明中のイラストは実際のものと異なる場合があります。
また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。

⚠️ ご使用上の注意



注 意

- 乳幼児の手の届くところには置かないでください。
またいたずらには十分注意してください。
けがの原因となります。
- 缶飲料や飲みものの保温・保冷以外の目的では絶対に使用しないでください。
- 熱い飲みものを入れて本体外側が熱くなったり、冷たい飲みものを入れて結露する場合は、構造上不具合のある可能性がありますので使用しないでください。

- 熱い缶飲料や飲みものを入れた場合、次の点を必ずお守りください。
 - 断熱効果により、熱い缶飲料を入れても外側は熱くなりません。注意してご使用ください。
 - 本体を急に傾けないでゆっくりと飲んでください。急に傾けると、飲みものが勢いよく出てやけどなどの原因になり危険です。

- 本体外側が結露したり、熱くなるような場合は、絶対に使用しないでください。
やけどやケガなどの恐れがあります。

- 真空二重構造の内部(真空層)から水の音がする場合は使用しないでください。

- 底シールは、はがさないでください。

- 沸騰直後の飲みもの、または非常に高い温度の飲みものは入れないでください。
また、熱い飲みものを入れた場合、傾けた状態、または顔などを近づけた状態でふたを開けないでください。飲みものが急激に出たり、飛散するなどやけどの原因となり危険です。

- ふたを開める時は最後まで確実に閉めてください。また、ふたがしっかりと閉まっていることを確認してください。

- 熱い飲みものを飲むときは、本体を急に傾けないでゆっくりと飲んでください。

- 持ち運ぶ際は、内容物がこぼれないようにご注意ください。

- ストーブやコンロなど火気のそばに近づけないでください。
やけどや製品の変形や変色の原因になります。

- 電子レンジで加熱しないでください。
火花が飛び危険です。ケガや事故、破損の原因になります。

- 冷凍庫には入れないでください。

- 製品の構造上、湿度が高いときに水滴がつく場合があります。ご注意ください。

- 落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。
変形や割れ、保温・保冷不良の原因になります。

- 携帯電話・パソコン・デジタルカメラなど精密機器の近くでは使用しないでください。
万一、内容物がこぼれた場合、精密機器の破損の原因になるおそれがあります。
- 運転中は危険ですので使用しないでください。
車内や衣服を汚したり、やけどの原因となり危険です。また、運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。
- 飲みものの量は、飲み口ユニットの下端より少なめに入れてください。
- 大きな水を入れる場合は押し込まず小さく砕いてお入れください。
- パッキンが正しく取り付けられていることを確認してご使用ください。
- 小さいお子さまの手の届かない所に保管してください。
- 飲みものを入れた状態で長時間放置しないでください。

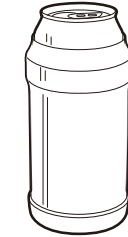
ご使用の前に

- はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
- 製品にガタつき・キズ・凹み・ひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
不具合があった場合、修理・分解はせずにご使用をおやめください。
- ふたは本体を完全に密封するものではありません。
横にするとこぼれる場合があります。飲みものを入れたまま、カバン等に入れて持ち運ばないようにしてください。

ご使用方法

缶ホルダーで使用

そのまま、缶を入れて
保温・保冷効果で長時
間、飲み頃温度を楽し
めます。



1 缶飲料を本体に入れる。

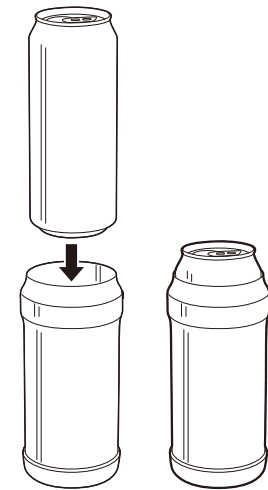
缶飲料をしっかり入れてください。
サイズの合ったものを入れてください。

2 飲みものを飲む

本体を持ちゆっくり傾けながら飲ん
でください。

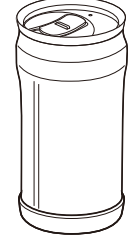
3 飲み終わったら

缶飲料は長時間放置せず、本体から
取り出してください。



タンブラー 蓋付きタンブラーで 使用

直接飲みものを入れて
タンブラーとしてお使
いいただけます。
また、ふたを付けての
ご使用もできますので
持ち運びやほこり防止
にも役立ちます。

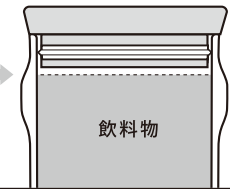


取扱上の注意

- 飲料物の量は、図の位置以下にして下さい。

【注意】
・入れすぎると飲料物があふれる原因になります。
また、ご使用中に漏れの原因になります。

飲み口ユニットより
下までが目安です。



- 飲み口ユニットは確実に閉めてください。

【注意】
・飲み口を確実に閉めてください。ご使用中に漏れの原因になります。
・パッキンは飲み口本体の溝に合わせて確実に取り付けてください。

本体と飲み口
ユニットに隙間が
無いかお確かめ
ください。

上からまっすぐ押し込む

